

Riceball Seminar 2017.11

ライスボールセミナー

【日時】毎週火曜日 / 12:20-12:50

【会場】創思館 1 階カンファレンスルーム

大学院ウィーク連携企画
大学院生による発表月間！

参加費無料・おにぎり付 

※多数で参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。



vol.17

11/7
tue.

低酸素環境下における 高強度トレーニングの効果

講師：笠井 信一 スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程 2 回生

指導教員

スポーツ健康科学部
教授
後藤 一成

vol.18

11/14
tue.

荻生徂徠と「先王之道」

講師：石 運 文学研究科 博士課程後期課程 2 回生

指導教員

文学部
教授
桂島 宣弘

vol.19

11/21
tue.

歯科治療音の快音化

講師：大塩 祥剛 情報理工学研究科 博士課程後期課程 2 回生

指導教員

情報理工学部
教授
西浦 敬信

vol.20

11/28
tue.

出会いは偶然か ——メルロ＝ポンティと「愛」を考える

講師：酒井 麻依子 文学研究科 博士課程後期課程 3 回生

指導教員

文学部
教授
加國 尚志

2017 年度最終回 産業社会学部・京北プロジェクト “京北おにぎり”  配布予定！

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

講師紹介



笠井 信一

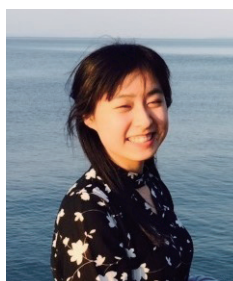
スポーツ健康科学研究科
博士課程後期課程 2 回生

低酸素環境下における高強度トレーニングの効果

専攻 スポーツ健康科学

研究者の道に進んだきっかけ 研究から得られたエビデンスを日本の競技スポーツ現場（スポーツ科学）に還元し、「理論と実践」の融合を成し遂げたいからです。将来は、アスリートの国際競技力向上に貢献できる、トレーニング科学領域を牽引することのできる研究者を目指しています。

研究内容紹介 アスリートの競技力向上をねらいとした最先端のトレーニングの一つに「低酸素トレーニング」が挙げられます。また近年では、低酸素トレーニングは有酸素性能力（全身持久力）だけでなく、無酸素性能力（スプリント力）の改善にも有効である可能性が指摘されています。しかし、その要因や効果の全容は明らかにされておらず、スポーツ現場での実践には至っていません。そこで私は、低酸素トレーニングが無酸素性能力および骨格筋内のエネルギー基質量に及ぼす影響を明らかにしてきました。今回は、これまでに得られた知見の一部を紹介いたします。



石 運

文学研究科
博士課程後期課程 2 回生

荻生徂徠と「先王之道」

専攻 近世儒学思想史

研究者の道に進んだきっかけ 交換留学の時、ある先生から頂いた丸山眞男の『日本政治思想史研究』という本を通じて、「荻生徂徠」という人を「発見」しました。その魅力に惹かれ、徂徠研究者という道を選びました。

研究内容紹介 「語学塾」「読書サロン」「詩歌創作同好会」…の今では極普通に我々の生活に存在する活動ですが、18世紀の日本にも現れていました。そのブームを引き起こしたキーパーソンは、江戸時代最も有名な儒者の一人、荻生徂徠です。今回は、徂徠の生涯・著作・活動を紹介しながら、その思想の最も核心である「先王之道」について解説します。



大塩 祥剛

情報理工学研究科
博士課程後期課程 2 回生

歯科治療音の快音化

専攻 情報理工学研究科 / 情報理工学専攻

研究者の道に進んだきっかけ 音響学の研究を通じて、対外的な活動（国内外の会議での発表、テレビ取材対応、歯科医院でのヒアリング）に参加でき、自身の研究意義を深く考えるきっかけとなりました。そこで自身の研究成果で、日本の学術研究へ貢献するだけでなく、日本の産業が抱える社会問題を解決したいと強く思いました。

研究内容紹介 騒音の快音化とは「騒音の絶対量を抑圧するのではなく、騒音の聴取印象を快音に作り変える」ことを指します。具体的には、騒音の不快な周波数成分を特定し、スピーカーから別の音（快音に不足する成分）を重ねることで、騒音を快音化します。本発表では、特に不快な騒音として知られている歯科治療音の快音化手法に関する研究について紹介します。



酒井 麻依子

文学研究科
博士課程後期課程 3 回生

出会いは偶然か ― メルロ＝ポンティと「愛」を考える

専攻 西洋哲学専攻

研究者の道に進んだきっかけ 世間的な流れに乗って就活するのが嫌で大学院に進みました。哲学を選んだのはなんとなくだったのですが、研究するうちに、難解なことを理解できた瞬間の楽しさがくせになったので続けています。

研究内容紹介 私は20世紀フランスの哲学者メルロ＝ポンティを研究しています。彼はそれまで哲学が軽視してきた「身体」に注目し、当時の科学的知見や芸術を取り上げつつ、独自の哲学を展開しました。今回は彼の哲学を、「恋愛」という切り口で紹介します。私たちは、恋人や進路など様々なことを人生において選択しますが、常に自分の選択に確信があるわけではありません。そのような疑わしさについて、メルロ＝ポンティ哲学を手がかりに考えてみましょう。

【会 場】 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1 階 カンファレンスルーム

【日 時】 毎週火曜日 12:20▶12:50

【主 催】 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)

【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナーの Facebook を開設しました！
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

